京城日報

發行所 京城本町通一丁目 合資會社 京城日報社

…は在米日本民族に對し他國民と同等の市民權を附與し日本人は在…民に對する加州法令の効力を大いに減殺ならしむべきも加州が補助的方法によりて凡ての東洋人に土地所有權を拒絕する…

過激派襲…

京城日報 大正九年を送る(下)

更に眼を轉じて朝鮮に於ける過去一年間を回想するに、大正八年騷擾の山河に漲つた暴氣はまだ各地に一掃するを得ないが、警察力の充實するに從ひ其の取締の行渡りたると、鮮人中の志慮あるものが、漸次に惡夢より覺醒し來りたることに依り、人心次第に鎭靜に歸し、加ふるに間島の不逞團掃蕩の功を奏し、全鮮內に好影響を與へたのは、吾等の殊に相慶する所である。之と共に朝鮮統治上の施設も追々進捗し、地方自治の準備制度たる新地方制の發布あり、敎育普及の準備たる學校評議員會の設置あり。是等は總て實施の端緒に就いた迄であるから、今日其の實績を云爲することはできぬけれども、深く人心を盛手せしめたことは疑ひを容れぬ。

朝鮮開發の一大利器たる鐵道網の完成が財界の不況に依つて一頓挫を來したる感あるは吾等の甚だしく遺憾を感ずる所なるも、是獨り朝鮮地方にのみ現れた事象でなく、全國を通じて一樣に打擊を受たのは、世界的現象であるから、如何ともすべからざるものと斷念めるの外ない。特に私設鐵道會社に解散の流行する如き眼前の打算に拘泥して、永久の利害を顧念せざるの趣きあり、大國民として甚だ耻づべき次第であるが、幸ひに輿論の趨向は一般に反對を表し居る有樣なれば、此の忌むべき風潮も何の樣にか食ひ止めて財界景況の恢復を待ち得ることになるかも知れぬ。殖產興業も同じく財界の影響に依つて多少の挫折を來たしたに相違ないが、一般の收穫を增加したことは疑ふべからざる事實で、朝鮮住民の八九分を占める農家が概して生計に餘裕を生じたことは確かである。唯今日の現狀では米價の餘りに暴落したのと、金融の稍梗塞せるに依つて、收穫物を抱へながら、金錢を得るの道に窮して居るの傾きあるが吾れ等は寧ろ其の前途を樂觀するものである。

朝鮮財政の獨立といふことは將來の理想としては當然の事柄であるが、現在の狀態ではまだそれまでに進んで居ないものと見なければならぬ。故寺內總督が曾て議會に於て財政の獨立を聲明したのは、時の行き掛上餘儀ない次第であつたので、爾來幾年かの間、隨分無理な算段をして來たのであるが、之がために百般の施設に遲滯を來たすことは免るべからざることであつた。殊に新官制施行以來の警察費の俄に增加したる結果、到底此の聲明を維持し得ざること極めて明白となつた末に、大正九年度より國庫の補給を受くることになつたのであるが、大正十年度に於いても一千五百萬圓支出のこと帝國議會に於いて決定されたといふ吉報に接したが、此事たる算盤以外に大なる好影響を與ふるものと思ふ。即ち新領土と本國間の關係を密接にし、互に肺腑の感を懷かしむる爲にして、實は政府の高等政策の一に屬するものでなければならぬ。况して之がために帝國敎育の進捗普及を促し、秩序安寧を一層鞏固にし得るのであるから、吾等は之に盡瘁努力せられた總督以下の勞を切に感謝するのである。

筆末ながら茲に記し奉るべきは李王世子、方子女王兩殿下の御成婚の慶事にして、日鮮併合の大精神を事實に示させたまへる御事は、我等新舊同胞國民の深く感銘する所である。

大正九年は如上述べ去りたる通り、喜悲錯綜、幾多の問題を殘して逝いた。之を適當に解決し、良好の結果を收めるとは之れを新なる歲に待たねばならぬ。逝く者は去つて返らずと雖も、世事は常に連環の如く因となり果となつて居る。遠からずは來る大正十年をして大なる成果あらしめよ。

第四十四回帝國議會

貴族院 (二十八日)

貴族院は二十八日午前十時開議德川議長は書記官をして諸般報告をなさしめたる後二十七日閉院式に賜りし勅語に對する奉答文案を起草委員の手許に於て起草したるを以て朗讀すべしとて左の奉答文案を朗讀し滿場一致可決す

奉答文

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹ミテ叡聖文武 天皇陛下ニ上奏ス第四十四回帝國議會ノ開會ニ際シ茲ニ盛典ヲ舉ケ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹ミテ聖旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ賛襄センコトヲ期ス臣德川家達恐懼ノ至ニ堪ヘス謹ミテ奉答ス

夫れより全院委員長の選擧に移り開票の結果

九十六票 德川賴倫侯
二票 德川慶久公

にて即ち德川賴倫侯當選す次で議長は常任委員の選擧を各部に於て行ふべき旨を告げ十時三十分休憩

十時五十分再開德川議長は金色燦然たる大禮服にて議長席に就き貴族院が滿場一致にて可決したる奉答文を宮中に於て石原次官より執奏せられんことを乞ひ次官は直に葉山御用邸に御駐輦中の陛下に奏上せるに陛下より左の優渥なる勅語を賜はりたりとて滿場最敬禮裡に議長は起立朗讀す

勅語

朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

夫れより各部に於て選擧したる常任委員を報告せしめ議長は本年の議事は本日を以て終りとし尚ほ明年は一月二十日迄休會せんことを滿場に諮り異議なく決定正午散會せり(東京電話)

衆議院 (二十八日)

衆議院は二十八日午前十時二十分開會、粕谷議長は、勅語奉答文捧呈の爲め參內せるより粕谷副議長代つて議長席に就き書記官をして諸般の報告を爲さしめ日程第一、全院委員長の選擧を行ふべき旨を宣し選擧の爲め指名點呼を行ふ其結果左の如し

投票總數二百七
當選二百二十一票 横山寅一郎(政)
次點八十六 押川方義(無)

粕谷副議長は横山氏當選せる旨を宣し日程第二、常任委員の選擧を行ふ爲め各部に於て互選の上其の結果を議長に報告ありたしと告げ十一時一旦休憩

十一時五十分再開粕谷議長着席し『勅語奉答文捧呈の爲め十一時參內鳳凰間に於て宮內次官に對し執奏方を乞ひたるに更に同次官を經て左の勅語を賜はりたり』と報告す

勅語

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

滿場起立して敬意を表す夫れより議長書記官をして各部に於ける常任委員選擧の結果を報告せしめ終つて議長より『只今當選せる各常任委員は別室に於て委員長理事の互選をなし議長の手許まで報告されたし』と告げ尚は前例に依り本會議を火、木、土として委員會日を月水金とし質問日を火曜日とするに異議なきや又最早年末となりたるに依り二十九日より一月二十日迄休會するに異議なきやを諮り異議なく之を承認し零時五分散會せり(東京電話)

上院常任委員

貴族院各部常任委員は二十八日各部に於て選擧の結果左の如く當選せり(東京發電)

豫算委員 子爵稻垣太郎外六十二名
資格審査委員 伯爵林博太郎外八名
懲罰委員 公爵室致外八名
請願委員 子爵今城定政外三十六名
決算委員 男爵中山武敏外三十四

下院常任委員

衆議院常任委員及理事互選の結果は左の如し(東京發電)

豫算
委員長 武藤金吉
理事 鳩山一郎
同 牧山耕藏
同 長田桃藏(以上政友)
同 神原 武(憲政)
同 小橋藤三衛(國民)
同 山本厚助(庚申)

請願
委員長 植場 平
理事 中島守利(以上政友)
同 阿由葉勝作(憲政)
同 福地鐵吉(國民)
同 奧村安太郎(庚申)

決算
委員長 木下謙二郎
理事 西田銑吉
同 鈴木錠藏(以上政友)
同 石井研二(憲政)
同 石川長右衛門(國民)
同 山邑太三郎(庚申)

懲罰
委員長 島田俊雄
理事 野添旦一
同 永岡 茂(以上政友)
同 森下龜太郎(庚申)

政友代議士會

政友會にては二十八日午前九時四十五分院內幹事室に於て第一回代議士會を開會し岡崎、鵜澤、望月、山本、指田各幹事長以下各幹事其他二十餘名出席先づ山本悌二郎氏會長席につき常任委員は原總裁の指名ありたれば之を披露する處あるべしと述べ岡崎幹事長は二十七日の幹部會に於て詮衡の結果左の如く政務調査會長並に副會長を決定せりと披露せり政務調査會長井上角五郎▲副會長八木逸郎▲同守田福松次いで岩崎勳より左の全院委員長並に常任委員長を報告し尚二十九日より明年一月二十日迄議會休會二十一日は委員會日につき二十二日より本會議を開會する事となるべきも二十日午前十時より院內に委員會を開き定時大會を開催すべければ諸氏に於ても其の豫定にて願ひたしと謂り異議なく承認し十時散會せり(東京發電)

全院委員長横山寅一郎▲豫算委員長武藤金吉▲決算委員長木下謙次郎▲請願委員長植場平▲懲罰委員長島田俊雄

政友會政務調査會役員

政友會の議會開會中設置すべき政務調査會々長副會長左の如し(東京電話)

會長 井上角五郎
副會長 八木逸郎

恒憲王殿下

賀陽宮恒憲王殿下には今回少尉に任官あらせられ左の如く敍勳ありたり(東京發電)

陸軍少尉 恒憲王
敍勳一等授旭日大綬章

對外貿易 入超二千萬

大藏省發表十二月一日より二十五日に至る海外貿易輸出六千七百八十七萬三千圓輸入八千九百六十三萬三千圓差引二千百八十一萬圓の輸入超過を示したり前年同期の輸出二億七千六百九十八萬二千圓輸入二億一千五百十三萬四千圓に比し五百八十四萬八千圓の減少なり而して一月以降の累計は輸出に於て十九億二千八百八十六萬四千圓輸入二十一億二百七十一萬二千圓差引一億九千百八十四萬八千圓の輸入超過を示し居り之を前年に比すれば輸出に於て一億七千萬九千圓の減少を輸入に於て一億七千七百二十五萬圓を增加せり(東京發電)

勅選議員缺員 七名に達す

貴族院勅選議員中[illegible]川良平、高橋作衞、下條正雄、和田維四郎氏の逝去並に中村雄次郎、松岡康毅兩氏辭任のため六名の缺員中なりし所今回高崎親章氏の逝去により七名の空位を生じたり(東電電報)

高崎親章氏 廿七日逝去

貴族院議員高崎親章氏は豫て病氣の處廿七日午後二時十五分遂に逝去したり危篤の報天聽に達するや特旨を以て從四位に敍せられたり(東京電報)

滿鐵社債 千五百萬圓

南滿洲鐵道株式會社にては今回社債一千五百萬圓を發行する事となりたるが條件左の如し(東京電報)

金額一千五百萬圓▲利率年七分▲償還期限一箇年据置其の後三箇年內に償還▲利子支拂期日六月一日十二月一日▲發行價格額面百圓に付九十五圓▲申込證據金三圓▲申込期日一月二十日より二十五日迄▲拂込期日二月十日▲引受銀行正金、興銀、鮮銀、第一、三井、三菱、十五、安田

朝鮮警察の現狀(下)

制度改正と警備機關の充實 着々討伐の步を進む

豆滿、鴨綠の長江に依り延長八百十三哩の國境を控へたる朝鮮は時に對岸に於ける馬賊或は不逞匪賊團の侵入の爲め地方治安を脅かされつゝあるは昔時より敢て異りたる所なきも近時對岸に於ける不逞徒は遽かに猖獗を逞うして屢々鮮內に侵入し或は盜賊となりて財寶を掠奪し或は强盜と化して良民を殺害し又は不穩の流說を放つて秩序の紊亂に努めんとする等言語に絕するの行爲に對し警察當局は猛然として其れ等の取締を嚴にすると共に不逞匪賊團の跳梁亦前日の如からざるは之れ其の好果を證するに足るものと云ふべき也一口に八百十三哩と云ふも之れを朝鮮內鐵道線路に比較せば釜山より安東縣に至る距離に更らに京城より咸興に至る距離を加へて尚ほ若干の不足を見又之れを內地に比すれば下の關より栃木縣黑磯間に比し尚ほ十三哩の延長を見るべし此の長距離の國境に對し警備機關の配置を見るに平北、咸南、咸北の

三道に亘りて

直接江岸を管轄する警察署は二十七箇所警察官駐在所七十四計百一箇所警備警察官約四千九百人而して警察官と共に警備の任に當れる國境守備憲兵は憲兵隊三同分隊九同分遣所十八同監視所七十一計百一箇所守備憲兵數八百六十四人にて警察官憲兵にして直接江岸警備の任にあるものは總數約五千七百人なり然れども今日の情勢に於て移動なからんには或は此の人員を以てするも可ならんも混沌たる對岸地方の情況は何時

如何なる變化

を來し引いて國境を犯して朝鮮內に如何なる影響の侵入し來らんかは豫め知り難きを以て國境の警備は愈嚴にして倍々密ならざるべからず即ち國境方面に於ける警備機關の充實は今日を以て未だ決して滿足なりと云ふべからざる也更に國境のみならず朝鮮內に於ける警備機關の充實も前年の比に非ずとするも根本的に地方の治安を維持し秩序整然たらしむるの上に於ては一層充實の計畫無からざるべからざるは勿論なりとす要するに朝鮮の開發は國民の安堵に待たざるべからず國民の安堵は治安の維持と秩序の整理に存するは言を要せざる也

鐵道運輸規程の改正(續)

鐵道部長 和田一郎氏談

五、不正乘車の場合に於ける割增賃を乘車賃の倍額させること 此の改正は一般旅客の注意を要する點であつて從來は普通の乘車賃と其の他割增料として二十錢を徵收するに過ぎなかつたが無札乘車や等級以上の不正乘車が多くなつて來て一般旅客に迷惑を及ぼす事のあるので防ぐ爲に鐵道に於ては此の如き者に對しては正當運賃の倍額以內を請求することを得せしめ正當なる旅客を保護するのである此れは既に內地で實行して居るのと異りはない

六、無賃手荷物斤量の最小限度を定むるに止めたること及中間停車場に於て再託送を爲し得ることに改めたること 從來は各驛毎に無賃手荷物の斤量を定めたのであつたが鐵道は其の最小限度を三十斤以上に定むることを要することに改められたので各鐵道は其の狀況に應じ右制限內で定め得ることになつた最近鐵道省線及滿洲線は二等七十斤三等五十斤に改正したので朝鮮線でも右と同樣に改むる筈である又無賃手荷物を途中で再託送の場合は其の發驛で豫め斤量の證明を受けたるときに限り旅客は其の請求を爲し得ることに規定せられた

七、貴重品の託送を認めしこと 貨幣有價證券其の他の貴重品は從來手小荷物として託送することを得ざる規定であつた之は要するに一方に於て無賃手荷物賠償限度が百圓と規定されてあるので之を拒絕して居たのであるが、鐵道で所謂貴重品とは絹織物類を始め數十種類あるので之を禁ずることは實際上行はれ難いので之を託送し得ることゝなつた

八、手荷物の價格表記の制度を認めしこと 鐵道の惡意又は重大なる過失に因つて手荷物の滅失又は毀損ありたるときは旅客一人に對し百圓以內の賠償を爲ねばならぬことゝなつてゐるが今回の改正に於ては滿洲線の例を參酌して旅客が手荷物の價格百圓を超ゆるものに付料金を支拂ひて價格表記を爲したるときは滅失に對しては其の割合に應じ表記價格の全部又は一部又毀損に對しては表記價格の範圍內に於て實際の損害の賠償を鐵道に請求し得ることを加へ旅客の權利を保護したのである

九、貨物の過秤、提職、品名詐稱等の場合に於ける增賃金を設けしこと 貨物運送狀に記載の品名、重量容積又は箇數に基き計算した運賃が正當に支拂ふべき運賃に不足する場合は不足額の外其の十倍以內の增賃金を鐵道が貨主に對して請求することが出來ることゝなつた又爆發物其他危險品を他の品名で託送したときは其の外に前段の增賃金を請求し得るのみならず一斤に付二圓以內を請求し得ることゝなつた之又一般荷主の注意を喚起したい

十、鐵道の貨物賠償責任を擴張せること 從來運送貨物一口の中に貨金判物を要するものを混へたる場合に於て貨金の仕拂なきときは其の貨物全部に付鐵道は賠償責任が無かつたが今回其の規定を削除せられたる結果かゝる場合には鐵道は其の貨物に付賠償の責任を生ずることゝなつたのである

十一、鐵道の貨物運賃概算拂の請求權を加へしこと 從來貨物運賃其の他の料金は託送の際之を支拂ふべき規定であるが着拂の認諾あるものがあつた今回の改正に於ては元より着拂にて運賃及料金の金額を確定することを得ざるときは鐵道は概算拂を請求し得ることゝなつた

十二、貨物積卸通知不能の場合停車場の掲示を以て代ふることを得ること及引取をなさゞる貨物の處分期間を短縮せること 貨主が貨物の積卸に於て鐵道の通知したる時間內に積卸をなさゞるときは從來鐵道は留置料を請求し又は前受人の費用で鐵道が積卸をなすことを得る規定して居たが鐵道が積卸時間の通知が出來ないときは當該停車場の掲示を以て其の通知に代ふることを得ることになつた又從來荷受人が貨物の引取を拒絕し又は到着後三十日を經過するも引取を爲さゞるとき若くは荷受人不明のときは鐵道は相當期間を定めて荷送人及荷受人に處分を催告することを得たが今後は到着後十五日を經過すれば催告期間は三日を下ることゝし其の催告期間を經過したとき貨物を處分することを得ないことに改めらる

右は今回改正の要點であるが鐵道營業法は鐵道運輸規程の根本法規たると共に旅客、荷主と鐵道との間に於ける權利義務に付て其の限界を定めたもので鐵道營業法第一章の運送の特別規定を爲したものであるから輕視すべからざるものである(完)

京取紛紜 信託組合濫用 仲買廢業せん

京取市場に於ける二十七日の受渡し後仲買人間に一種暗雲ありしが昨今仲買人七八の連袂廢業を見んとするの形勢にあり遂晚の株式界にこり遺憾多きがその間の事情を聞くに仲買側の所說は左の如し

京取市場の重役が事務の執行上に公平を欠き批難多き事は公知の事實なり最近信託組合なるものを市場內に設け株式受渡しに便ぜんとするは趣旨頗る可なれど運用上一方を扶くるに汲々たる事實あり現に同組合の內規として天日專務が仲買側に示したるものには組合所有の京取株二千を限度として渡株に使用せしめその使用料(時價の八割五分)を徵し受け方の資金に貸附くるをなさしめ居れり即ち

信託組合は所有の京取株を貸附けざれば資金を擁せざるに拘はらず

…方に於て…し一株の借り受けも信託組合に申出でざりしに組合は如何にして金を融通して組合內規を無視し買方に對し…ことゝ云ふにある如く右に對し信託組合を罪れ

天日專務は語る

成程信託組合資金融通內規は一部仲買人が云ふやうになり居れり然し乍ら貸附を用意せる二千の京取株は一人の借り手なく結局買方よりの資金の貸し出しを求むる際は頗る大なりきを以て此儘放置せるまでにて京取約二千三百株分を限度とし便宜上資金の貸付けを行なひたり信託組合は內規によつて經營すべきものなれど一部仲買の云ふ如く理詰めにて來らるれば組合の經營は予と前本氏の任意に之れをなし居れて妨げなしと云ふ外なし尙ほ本問題に關して仲買人の廢業說ありとも云ふが夫れは止むを得ざるべし

渡し不能となりて歲晚の受面白からぬ事態を誘致し

加ふるに一般に迷惑及ぶにつき…雙方の云ひ分以上の如きが從來纏綿せる幾多の利害問題伏在し居るらしく問題の解決は頗る難くすまざる如し

年末金融平凡

歲晚金融は豫想の如く平穩にして鮮銀券も一億一千二百萬圓臺にあり大口の資金需要起らず小口の預金出入相當に繁忙なるを見るのみ金利は軟調裡に保合用途次第によりては引下げんかの機運にあれど先づ此邊にて越年すべく地方一般を通じ資金難商況不振の歎聲はあれど不祥事の發生は之なきものゝ如し

地方學生の爲 寄宿舍經營

大正實業親睦會にては廿七日午後四時より明月館支店に評議員會を開き會則改正其他の件を附議したるが會則改正の重なるものは

一、第四條の目的中に育英事業に關する事項及會報又は雜誌發行に關する事項を加入する事
二、第七條役員中從來理事十五人なりしを五人とし新に參事三名を設け評議員五十人以內なりしを二十人以內に減じ顧問の外に相談役若干人を置く事
三、同會の事務執行機關として庶務、調度、社交、事業、調査の五部を設き理事を以て之を統轄せしむる事

等なるが同會にては育英事業として地方學生の爲めに寄宿舍經營の計畫を進行しつゝあるが近く着手するに至るべし

簡易倉庫落成

過般四棟の移設を終へたる朝鮮線簡易倉庫は二十八日迄に於て更に烏山、西井里、溝道の三箇所落成し都合七棟を竣工せり

土木協會總會

朝鮮土木建築協會にては來る一月七日臨時總會を開催し規約一部改正及び十年度豫算を附議すべし

辭令 (廿八日附)

退職判事 石川敬藏
任朝鮮總督府判事(五等) 朝鮮總督府判事 川西文雄
任朝鮮總督府檢事(六等) 同府技師 岸秀次
任關東廳技師(三等) 朝鮮總督府判事 李熙廸
任平壤公立高等女學校敎諭 依願免本官 藤見隆治
任神奈川縣女子師範學校敎諭

本紙終刊

本紙は今三十日發行の分四頁を以て本年の終刊とし新春元旦號より更に筆硯を新にして讀者に見ゆべし

人事消息

▲寺柳榮司氏(工學博士) 二十八日夜入城朝鮮ホテルへ
▲細井肇氏(自由討究社長) 二十九日夜東上來月末歸城の豫定
▲美濃部俊吉氏(鮮銀總裁) 三十日午前九時二十分南行列車にて歸城す
▲久留島一郎氏 江原道第二部長久留島新司氏嚴父は本月二十七日逝去せり(奈川特電)

謹告

隣邦支那北部の飢民救濟の目的を以て曩に本社が廣く江湖の義人に訴へ其の義捐を募集致候處各位の深厚なる御同情に依り應募額一萬七千二百卅一圓七拾九錢に相達し候を以て弊社は直に之が配與の手續可致茲に締切に際し御應募各位の御厚情を拜謝旁此段謹告仕候也

大正九年十二月卅日

京城日報社
毎日申報社

面白倶樂部 新年增刊 人情小說號

大好評大歡迎

春宵秘記 若い鴿 村田嘯山
驚心駭魄 强盜團 中村孤月
秀々奇譚 圓い人情 吉岡鳥平
春場所好取組 中京歌留多界 小田末造氏
古今風流 加賀鳶松五郎
活動秘密帳
高貴の羽織

見よ!人情物一流作家の傑作揃ひ一讀も息もつかせぬ面白さ

哀艷悲情 今宮心中 村松梢風
薄命運 蝎と密航婦 江見水蔭
臥薪嘗膽 畫印供養 小川 畑村
人情喜劇 雷 武田鶯塘
惡因業果 累物語 夢想兵衛
幕末逸史 白井獨眼龍 有村山
情炎悲曲 女歌舞伎 長谷川時雨
自業自得 情非情 小林蹴月
悲喜交々 孕罪 大橋青波
一陽來復 金ぬま財布 海賀變哲
切齒扼腕 令孃の運命 高橋雨城
哀戀秘話 金春の娘 ほるか

雪の溫泉場 川村花菱
狸寺 雁次郎
笑話集 本郷氣分
印度小話 關西眞珠夫人
死後の勝利 歌留多戰法
志士の腸 大華の思出
韓非一口噺 有樂座の哀史
臍の垢 五郎の最後
中京情界

特別大懸賞 面白く/\出來る 平易課題 賞金參千餘圓

定價金八拾錢 東京本郷駒込坂下 講談社發行 全國各書店にあり早く御覽

舊鮮銀株二千八百株を 皇室から御下賜

李王世子殿下御成婚御祝の御思召で

此度皇室より李王殿下に對し李王世子殿下御成婚御祝の御思召に依り舊朝鮮銀行株二千八百株(時價約三十萬圓)の御下賜の御沙汰あり二十九日午前十一時總督は官邸に於て李王職長官李載克に對し右御傳達あり同日李王殿下よりは年末御挨拶ご共に御禮言上執奏の爲同長官李載克を總督官邸に遣はされたり

優渥なる思召に 李王家の感激

李王殿下から御禮言上 國分李王職次官談

王世子殿下の御成婚の御祝ごして畏れ多くも皇室から朝鮮銀行株二千八百株の多額な御下賜があつたので李王殿下をお始めごし御眷族一同優渥なる天恩に感泣せられて居る次第である李王職長官李載克氏が御名代ごして二十九日午前十一時總督官邸に於て右御傳達を受けられたが李王殿下には直に内閣總理大臣宛に御禮の旨上を執奏方電報を發せられました

暗殺團の所在

百二十名潜入?

鮮内に侵入せりごの不逞暗殺團の所在につき仄に聞く處に依るご李瑞以下百二十名の不逞鮮人は左の各地方に分れて潜入した模樣である、黄海道、平山、松禾、鳳山、白山の各郡及び平安北道楚山郡、渭原郡方面(新州特電)

威嚇飛行に會ふて 生蕃膽を潰す

狂暴な蕃社歸順を申出づ

生蕃中最も頑強なりごの稱あるシヤボカン社は最近殆ど狂暴の振舞多かりしが今回二三回の威嚇飛行に肝を潰し意氣全く失ひ歸順を申出でたり同社の歸順は引いて南部蕃社全部の歸順の導火線たるべしご(臺北發電)

自覺して來た 國境の民心

國境視察から歸つた 赤池警務局長談

江岸結氷の爲め義州から玉江鎭新安州を經て照川まで溯つた丈で引返しました從つて照川から狗峴嶺を越ゑて江界に入る計畫も遂に中途で變更の止むを得ざるに立到つた事は返すく〴〵も遺憾である、何しろ照川で暖かい日が零下十八度ご云ふ始末

自動車は 前夜からエンヂンを動かして置いて漸く動くのであるが狗峴嶺五里の峠路が全く凍結して自動車の登攀が不可能なので引返した次第である國境警備の巡査警官は何れも元氣旺盛士氣緊張ご云ふ有樣で非常に心強く思ひました鴨綠江は殆ご結氷して居るが急流はまだ凍つて居ないので何處でも徒渉が出來る譯ではなく當分は

不逞漢の 潜入も殆いであらう、今度の視察で平安南北道の民心が安定に向はんごする轉換期に在る事實を認る處で發見しました國境方面で鮮人青年が駐在所に詰切つて警察官の手助けを實行してゐるなごは最も好い其の適例である、又警察官の志望者も漸次增加し最近は黄海道が六倍、平南が八倍平北が

十倍を云ふ 競爭率を示してゐます平壤其他でも小學生が普通學校兒童に虐められるご云ふ事も絶無になり青年學生も自覺して學事に勵勉し内地人教師には厚く好意を表する有樣である一般世間の話題も赤概將政府の有名無實である事や官動は朝鮮の今日ごして爲すべからざる事であるなご大分變つて來たやうである確かに

自覺して 來た證據で邦家の爲め朝鮮の爲め慶賀すべき傾向ご云はねばならぬ、明春にでもなれば更に安定するに違ひありません……是は餘談だが照川の宿屋で風呂に入つてゐる時の方が何だか冷たいご思つたら丁度尻の當つて居る板敷の部分から凍り初めてゐるので驚きました國境方面の寒氣は全く別です

阿片の密輸入

港の大阪商船西貢丸から密くべき阿片密輸入が發見せられた神戸では曾に日支人共謀の大仕掛[illegible]の西貢丸が入港すると同時に[illegible]船員數名[illegible]乘込みて船内を[illegible]檢査した所驚くべし同船[illegible]嫌疑者として船員數名を逮捕したるが其他に十數名の連累者ある見込でこれ等を一網打盡すべく同署は大活動を續けて居る[illegible]近頃密山鎭及び草梁方面に於て[illegible]盛に密輸をなし朝鮮獨立[illegible]の宣傳をなす者あるを探知したる[illegible]中[illegible]判明し直に逮捕[illegible]たるが[illegible]は元[illegible]にして十數年前より基督教の[illegible]の言をなし最近草梁[illegible]有の教會に於て[illegible]に事業せ[illegible]る、ものなり此際全道の同胞は[illegible]に邪鮮に歸依すべし[illegible]一見内地人ご異らず實は元松平[illegible]樓仲居某を娶つて居るが十月十七日櫻井町二の一九七舟山忠三[illegible]事を探知[illegible]は入獄何れ[illegible]本町署川[illegible]事が[illegible]他數箇所にて數百[illegible]取贓品[illegible]中である

木村教授筆禍事件

控訴公判

東大教授木村文一氏及雜誌評論編輯人信定辰太郎氏の不敬事件は東京控訴院西川裁判長係にて審理中の處二十八日前判決(各禁錮一年六ケ月)を取消し更に各禁錮一年に處する旨、判決言渡しあり、兩氏共に直に上告せり(東京電報)

東京市の 疑獄事件

被告二十三名

目下起訴され居る東京市疑獄事件の被告は代議士高橋義信市會議員根岸治右衞門を筆頭に二十三名に達し居れり(東京特電)

慰問袋

の寄贈を受けて 當該官憲感激

愛婦朝鮮本部から

愛國婦人會朝鮮本部より寄贈の慰問袋は國境江岸警備官同家族達へ配分さるべく二十四五の兩日夫れ〴〵發送を了せるこごは報の通りなるが水野本部長は大橋本部主幹を關係道廳に出張せしめ親しく道知事に面謁して篤志家の温たかき同情の燃ゆる感謝の誠意を傳へしむる所ありしに當該官憲の歡喜ご感謝は非常のものにて配分の曉には清い心の結晶よりなる愛國婦人等の獻身的努力ご寄附篤志家の同情厚き赤心に何れも感謝の淚を流して歡ばるゝこごであらう

女子教育改良(四)

運動服は怎う改良する?

仁川高等女學校長 藤井友吉氏談

裁縫

各學校に於ける裁縫教授の現況は大體自分が自分の學校で見て居る所ご格別の違ひを見出すこごの出來ない程平凡なものであつた。然るに次ぎに述べる木下教授の裁縫科に對する意見ご、神戸女子高等技藝學校の實況ごから甚だ多く啓發された。殊に

後者の實績 は只私が多く啓發されたに止まらず恐らく將來全國女學校の裁縫科教授に一大改革を行はしめる好個の刺激剤であらうご思はれる。奈良女子高等師範學校木下教授は自身裁縫の技術を持つ人で裁縫科に就ては深い研究がある又理想を持つ人である。私は同教授の意見を

詳細に聽き たいご豫てから考へてゐた。教授の高等女學校裁縫科教授に對する意見は大要左の樣である。

木下教授意見

一、裁縫科教授は女子をして衣服供給者ごしての能發ある爲さしむるご共に衣服消費者ごしての能發ある爲さしむる必要がある、從來は前段の目的に偏した傾きがある、

二、裁縫は教師が教ふべきものでなくて生徒が自から習ふべきものである事を忘れてはならぬ、

三、從來は十の材料があれば殆くさもその十だけに亘つて教授なしたそれが不徹底に終る因である、却今は十のものはその中の四だけを確〳〵に徹底的に習熟せしめることにしたい、

四、本、單衣を基本ごして技術に習熟させるが好い之が立派に腹に入れば裁縫の約八割は出來たものごみて差支へない

五、從來は木綿で一渡り縫はせて然る後、絹物に移つたそれは迂遠で又不必要な方法である、初めから絹物を用ゐさせるが好い絹布(銘仙ぐらい)が縫へれば木綿物は無論縫へる筈である、

六、段縫方は各種につき習得させる必要があるそれも一ツ一ツ教師の口授示範に依らないで大抵は圖解を見て生徒自身で了解する樣に仕向けたい、

七、部分縫なども一々教師の指導を待つて先きへ進むご云ふでなく樣しながら先から先へ進んで行くと云ふ風にしたい、今日の裁縫科教授では生徒が個別的に教師の批判を受けようごして多大の時間を空費することは著しいこごである、

八、運針練習は上級生に至る迄常に充分にさする方が好い、それには河内木綿三尺七八寸の用布を與へて競技をさせるが好い、運針の能力は之に依つて三倍にも達すること は珍らしくない、

九、行け方なども特に練習させれば運針同樣能力を三倍位い迄は發達させることが出來る、

十、一般に始めから正確ご敏速を目標として根本的に技術に習熟させる事が肝要でその方法に付ては宜しく裁縫專門職工の養成法を加味すべきである。

神戸市加納町に私立神戸女子高等技藝學校ご云ふ がある。校長鹽原千代子の創立したもので

多年の研究 に因つて裁縫技術に一大改良を加へその爲に從來の裁縫に要した時間を約三分の一に節約する事が出來ると云ふので其實地を視察した。校舍は左程の立派でもないが目下增築中であるから數年を出ですして堂々たる校舍ごなるであらう。學級編成に本科、專科、中等專門部、高等專門部、教員養成科などの

部門を設け て入學志願者の學歴年齡に應じて適宜の學級に編入する(本科及專科は尋常小學校卒業者)入學期日を一定しないで希望者があれば何時でも入學を許す、從つて卒業期も一定しない。云はゞ毎日でも卒業生を出してゐる有樣である。校名の示す通り技術專門の學校で目下

在校生徒は 千數百人を算し生徒が校舍から溢れて居る。本校で從來の裁縫に改良を加へた主な點は大要次ぎの諸點に在る。

鹽原式教授法

一、鹽原式運針法 兩手の中指ご食指ご拇指の三指を主ごし全指共同の働らきに依つて左右の手の調子を合せ一針毎に共一針自分を右手は引き左手は之を送ることご恰もミシン機械の樣にする、

二、總ての用布及び用具を常に一定の形式に依りて配置させる事 例へば裁つた用布は一定の順序に折り重ねて置くから上から順々に縫つて行けば自然ご寄物になつて行く、物指や鋏なごの位置もキチンご一定して居るから用具を探す必要は決して無い、針なごも共通類に應じて針箱の一定の場所に置いてあるから混雜しない、主要な縫糸は始めからカセを一箇所でブツリご切つて腰のあたりに卷き付けて置いて一筒から一筋宛引抜く樣にしてある、競技なごの場には前以て寄附の時間を利用して縫糸を數十本の針に通して之を束にして持つて居るから裁縫中ば針の目に糸を通す時間が省ける、

三、裁縫中に鏝を用ゐない 縫ひ折、折り返せなごなするには總べて指先の働らきで旨く扱くだけである、從來の裁縫の樣に燒鏝を用ゐる事なしない、其爲め第一に燒鏝を燒いたり燒け工合を試したりする時間が省ける、又炭火が不要になる又燒鏝の爲めに材料を傷める恐れがない、

四、部分縫を最も理論的に改良して元手間を一切省いて居る

此の鹽原式に依つて本校の生徒が競技をした成績は實に驚くべき敏速で私が同校の女學校長數人ご共に立會つた生徒の競技の結果も僅に二時間内外で縮緬の袷羽織等が出來上るのを見て何れも感嘆の聲に出さずには居れなかつた。勿論之等の生徒は在校一千餘人の中から選んだ熟達者の者で且つ學校の名譽の爲めに精氣のある限りを絞つて縫つた結果でもあらうが然し入學以來僅に一年にも足らぬ者が矢張り驚くべき速さを示して居る事を考へるご鹽原式裁縫の其物の中に採るべき長所が尠からぬ事である ご云はねばならぬ(完)

密陽警察署に 爆彈を投擲す

有力なる嫌疑者として 二名を檢擧す

廿七日午前九時頃密陽警察署に爆彈を投擲したる怪漢ありしが幸ひにして何等人畜に死傷なきのみならず警察署建物にも損傷なかりしが如く同署並に慶尚南道第三部は即刻大活動を開始し搜査中の處有力なる嫌疑者ごして朴某外一名を逮捕し目下嚴重に取調べ中なりご(釜山電報)

遠距離地震感應

仁川觀測所微動計に 支那同州地震再發か

震源地點は仁川を距る約一千八百キロ

本月廿五日午後遠地の發せる顯著なる地震の波動仁川觀測所微動計に約一時間に亘りて波動を記錄したるが微動は午後七時三十六分七秒に初まり各種の地震波動を明瞭に記錄したり其前大波動は機械の描針記錄紙外に逸出し實動の波動約二ミリ以上に達したるが之を本月十六日支那同州地方に起りたる大地震に比較すれば稍や少なるもの、如きも波動の傳へたる方向は北東方面ご推察せられ震源地點は約一千八百八十キロなるを以て右は支那同州附近ご符合し或は再び該地方に地震發せるものに非ずやご推せらる(仁川觀測所報)

新設勞働宿泊所

浄土宗開教院の經營

浴場、閲覽室其他娛樂機關完備 主に鮮人を收容する

淨土宗開教院では社會事業の一端ごして和光教園を組織し府内に保道部、教育部、社會部を置いてそれ〴〵

社會改善 に貢獻して居るが今回稱路三丁目二十七番地の貸下を得て勞働宿泊所を建設すべく十月初旬工事に着手し十二月廿五日落成した同所は獨身者で且つ一定の勞働に從事する者に限り主ごして鮮人の長期宿泊を歡迎し又一泊の需めにも應ずる事ごし宿泊料

一泊五錢 を徴集する規定である内部には浴場あり閲覽室、娛樂機關の設備殊に温突を設けてある但し飲酒、喧嘩、放歌、爭論、傷害者、泥醉者又は係員の指揮に從はざる者は宿泊を斷る事になつて居る若し宿泊中疾病死亡等の場合は各警察公共衞生機關に托して

便宜を圖 る由又早晩篤志家其他の寄附で維持する所は府社會課の保管部を設けて勞働者の活動安定を圖る計畫である同所の組合である又下宿的長期間の宿泊者を歡迎するこいふが一泊の宿泊者も許可するさうで同じに當分の間は五六十名を收容する事になつて居る

旅客激增

廿八日から 客車を增結

例年のことであるが年末に押し詰まるご自然旅客の往來は增加する數日來の南大門停車場でも午前六時二十分仁川行きの乘客が一時間も前から詰懸くるを始めとし午後十時の仁川行き迄列車までの十七時間を晝夜通じて各線發著旅客が驛構内に恰も興行小屋にでも觀劇して居るかの如く間斷なく滿員の盛況を呈し又此外何れの列車でも恰も電車に乘つた際で立錐の餘地なき滿員の大盛況である此の混雜なる狀態に鑑みた京管局運輸課では臨時列車を增發するかそれ共客車の增車を行ふかご鳩首協議の結果二十八日の夜列車から增客車を爲すこごごし通常列車數に客車を五車乃至七車を增結し機關車を重聯して運搬の便に供して居る

紐育へ行く女工代表

來春二月七日から向ふ一週間紐育のグランドセントラルパーレスに開かる、日佛伊支その他主なる國から出品に係る國際手藝展覽會に我國からも種々なる製品が出品さる、女工を渡米せしめ實地に製作狀態を見物せしむる筈

釘本氏の愛妾

自殺の噂 事實は斯うである

本町二丁目釘本藤次郎氏の愛妾石田ハルエ(二〇)が劇藥自殺を圖り遺書迄認めてあつたこいふので世間の噂とり〳〵であるが本社の探知した處に依ればハルエは曾て内地の實父に死で歸省したいご申送つたが親許からは返事がないので取調べ方を依頼して來た釘本氏は斯くの如き事は全然知らず本月十六日竹添町二丁目のハルエの寓に訪れた際ハルエは内地歸省問題を持出したが釘本氏ごの間に經濟問題も起り双方些細の事で口論したこいふが女の狹量から遽に持病の癪を起し苦悶するを發見附近の某が早速田中丸病院に電話で來診を求めたが同病院は醫師不在の旨を答へたので更に池田病院長の診察を受けた處胃痙攣ご判明し手當を施したる儀他に投藥もしなかつたが翌廿七日から起上つて居た廿八日は餅搗でハルエも種々餅搗に手傳つて居た劇藥自殺ご云ふ噂は何かの間違ひで又其筋でも眞相を調査したが自殺未遂の件は全然嘘だご云つて居る

強盜の屆出

眞僞は判らぬ

二十八日午後八時頃龍山漢江通り十一番地道路上に於て通行中の江原道京州郡鎭萱面[illegible]の[illegible]が三名の賊に洋刀を振翳し脅迫され所持金二百三十五圓八十錢を強奪されたりごて龍山署に屆け出でたるが同署にては探聞の結果被害者の申立が[illegible]はせざる處から廿九日正午頃同人を同行被害現場に至り詳細取調べたるも猶不審の點あるを以て引續き被害者につき仔細に取調べ中なるが一方賊の逃走したりご云ふ方向は足跡に對し種々捜査中にて未だ眞僞を知るに由なきも被害者の申立は頗る曖昧で[illegible]

拙、服中に付き歳末年頭の禮を缺き申し候

京城龍山 知人各位 矢橋良胤 ふみ

愛婦新年交禮會

七日京城ホテルで

愛國婦人會朝鮮本部にては來る一月七日午後一時半より京城ホテルに於て例年の通り役員會員の名刺交換會を催すべく會費は當日一圓持參のこご服裝は任意で出席の方は一月五日迄に本部へ申込まるべしご

旅行中年末年始缺禮 高橋金吉

杉山巡査殉職

廿七日死亡

平南全村警察官駐在所巡査杉山久吉氏は過般不逞鮮人の爲に狙撃せられ重傷を負ひ慈惠醫院に入院加療中なりしが二十七日午前七時終に絶命したりご因に大同警察署にては三十日午後一時より平壤府内大和町龍頭寺に於て追悼會を催すべしご(平壤)

三巡査へ金一封を給與

三部長から

龍山の米屋斬り犯人加藤市次郎源二郎の二兇漢を逮捕したる本町署警察部刑事石川龍馬、同高橋半、同黎泰容の三巡査に對し其功勞の顯著にして警察官の模範たるべき行爲なりごて廿八日千葉京畿道第三部長は金一封宛給與した

滿鐵 同新 東省 滿洲 [illegible]

廿八日夜入港對馬丸上陸客 [illegible]

天氣豫報 晴

告 京城在鄉軍人

來一月一日午前十時京城練兵場に於て遙拜式並に勅諭奉讀式擧行致候間御參集相成度 帝國在鄉軍人會京城分會

喪中に付年末年始缺禮仕候 深尾道恕

昨朝類燒の際は早速御馳付け被下御盡力に預り候段奉感謝候混雜中御貴名伺洩れ有之やも難計不取敢以紙上御厚禮申上候

大正九年十二月廿九日 京城南大門外 曾我商店京城出張所

新時代の婦人 女學世界 新年號

新年附録

戀愛と結婚 金子直一

佛蘭西の女學生生活 吉江孤雁

小說 伊豆の旅から 吉田絃二郎

本號に限 五拾錢 送料二錢 東京 博文館

長篇小說 花瓶 上司小劍 辛業式の日に生徒總代として現代の女子教育を痛快に批評したが爲に一旦渡された卒業證書を取上げられて遂に放校除名を受けた若い女の涙話! 反抗あり淚あり戀あり、新時代の婦人爲中に活躍す。

長篇小說 生ける魂 白石實三 身を以て働つた尊い最後のものを、呀子は遂に失つた、それと知つて自分の現在の戀に想到した時、絹子の魂のおのゝきはどれ程だつたか暗い恐しい誘惑の手は彼女の上にも延びようとしてゐる。

長篇小說 輝く日 中村星湖 新しい相手長谷川の名、それにも增して忘れ得ぬ神谷の姿!すべてを離れて新しい生活を求むる彼女の惱み!悲しい心を抱いて遙々と旅に出た可憐なヒロイン運命は果して如何に成行くであらうか。

◇新時代の女としての要求 ○我等に自由を與へよ。○婦人も男子も改造。○校長樣に。○田舍女としての要求 ○親達の理解を ○純潔な男子を望む

◇若き婦人の行くべき道 ◇女性文化建設のために ◇內に見出すべきもの ◇美を求むる若き方々へ 久 笠 成瀨

◇婦人と文藝 宮島新三郎 ◇異性の友に 渡邊たみ子

○西洋小說に現れた女 ○童話を作る婦人 ○女詩人の群 ○在紐育の日本鳥類 ○若き日の集ひ ○鷄鳴を聽つゝ ○東都に居る妹に

新人物生立號 中學世界 新年號

學生小說 美少年掠奪 揚爪丘の娘

小說 若き日の惱み 吉田絃二郎

歌 若山牧水 太田水穗 島木赤彥

受驗界 日本郵船海員生徒募集 神戸商船入學試驗問題 東京高師答案講評

○昔の腕白今の俠男兒 伊藤長七君

○三度中學を逐はれた內務監察官 大島直道君

○醫者志望から倫理學者 杉森孝次郎君

○大學改革の急先鋒たりし 額田醫學博士

○明治學院時代の 賀川豐彥君

○饑に生抵の絶えなかつた 黑木陸軍少佐

○運動界の覇者 野口源三郎君

○國技館の兩雄 常の花と三杉磯

新人物の風貌誌上に生動す

本號に限 五拾錢 送料二錢 東京市本石町 博文館 振替東京二四〇番

○講義を聽かずに大學を卒業した 星島二郎君

○官位を辭して新聞記者となつた 正親町季董君

○電車賃や湯錢に窮した新進畫家 廣島晃甫君

○師範學校を退學されて奮起した 藤森良藏君

○親分仁平を說伏した一代の俠士 中野正剛君

○運動會で殴りを勸めた 武者小路君

○獨父の國公で鳴らした 內田信也君

○喧嘩して片足を棄てた 永井柳太郎君

○現代文壇の花形 室生犀星君

■生命の開卷第一 文學博士 三宅雪嶺

■牛乳配達から海外殖民學校長となりし 崎山比佐衞君

■科學者夜話 中村清二

■アサリ博士の生立

■第一回國際學生會議ヤ中等學校雄辯大會記

■華胄界の偉材 武者小路兄弟

■惜春夜話 [illegible]五郎

商工業界の打撃（二）

財界變動の朝鮮産業界に及ぼしたる影響

總督府商工課長 田中卯三氏談

粟及雜穀類

粟其他滿洲産雜穀類は前年の減收を受けて旱害救濟用食糧品の補充買盛に行はれ前年末より本春に亘り輸入頗る

旺盛を極め 上半期の輸入高百十四萬石に達し前年同期に比し六十四萬石の増加を示し價格亦年初以來漸騰し輸入穀類の大宗たる粟の如きは一月上旬京城都賣相場滿城物一袋二十六圓を唱へたりしが三月中旬財界の動搖以來金融の緊縮ミ産地銀安の影響ミ相待ちて價格激落し六月には十三圓臺に暴落し尚先安氣配濃厚にして延いて受渡しに對する事故續出するに至り商取引頗る不良に陷り賣品口の外一齊に

見送の商状 を辿り下半期に入りては益々暴落し十月には遂に十圓臺に低落せり從つて輸入業者は何れも莫大の打撃を蒙りたるのみならず手持品の處分に困却せしが遂に北支那地方の饑饉に際し十月下旬より同方面に販路を求め辛くも殘存品の消化を講じつゝあるの状況にして最近迄の再輸出總量は概算五萬乃至六百袋ミ觀測され從つて輸入高の如き七月以降十月迄の間に於て僅に六萬餘石を算せるに過ぎざるなり之を前年同期に比すれば實に四十四萬石の激減にして取引の不振察するに餘りあり

品名	九年六月迄	八年六月迄
粟	一四四、四三一（石）	四〇、一五九
高粱	三九、三三一	一九、〇二〇
玉蜀黍	六六、六三六	一〇、一三一
蕎麥	三〇、八〇一	七、〇二一
合計	二八〇、八〇一	七六、三三一
品名	九年七月より十月迄	八年七月より十月迄
粟	二三、三五二	三四〇、三五三
高粱	一、四一〇	三三、二六一
玉蜀黍	三、八〇一	一一、〇四
蕎麥	一、八〇〇	一三、三〇二

綿絲布類

綿絲布界は昨冬金融緊縮以來旱害に伴ふ地方實需の不振ミ相待ちて内地市場の好勢なるにかゝはらず兎角不振の商勢を辿りつ相場も亦

自然伸惱み の状態に殊に前年來よりの持越品少からず滿洲方面に之れが轉賣を試みたる向きもあり然れども昨年來盛に行はれたる仲間取引は本春に入るも依然旺盛を極めたりしが三月中旬内地財界の變動以來三品市場の亂調に次いで四月相場の暴落に會するや鮮内相場も一齊に崩落し三A粗布の如き三月には一疋二十七圓を唱へたるもの翌四月には二十三圓臺に暴落し一面

金融の緊縮 に加へて滿洲方面銀安に因る轉賣の一頓挫ミ相待ちて斯況頓に沈衰し仲間取引の如き全く其跡を絶つに至れり爾來内地斯界に於ては紡績の操短乃至解合問題等の救濟策講ぜられ鮮地亦京仁綿絲布商に於ける救濟資金の融通並に賣殘品の先物取引に對する解合問題の著手等に依り六、七月の頃には市況漸く小持直しの氣味ありしも相場は依然不味漸落歩調を辿り殊に金融の逼迫に伴ふ

假需の激減 並に米安に依る實需の不振に依り需要期たる秋季に於ても小繁に經過し市況極めて閑散を呈し其他鮮人間の取引期間の如きも更に短縮を見るに至り而して五月以來行き惱みたる京仁綿絲布商解合問題も愈々値合金七割切りにて首尾好く解決を告げ値合差金三十六萬圓は年末迄に全部支拂の豫定なるが如し商況右の如くなるを以て綿絲布輸移入高は前年に比し著しく減少せり試みに本年一月以降十月迄の主なる綿絲布輸移入高を前年同期ミ比較せば左の如し

品名	綿絲（斤）	金巾（疋）	粗布（疋）	細布（疋）
九年數量	三、一四〇、七五六	一三八、九一	三一、〇三	〔illegible〕
對前年增減	一、一六〇、五三一	三二、一〇	〔illegible〕	〔illegible〕
九年價格	三、七五二、八三五	二、三九六、二七	〔illegible〕	〔illegible〕
對前年增減	一、三六一、七〇	一、三六六、七二	〔illegible〕	〔illegible〕

大正九年の仁川期米

前代未聞の大波瀾

騰落の鞘二千三百餘丁 出來高八千七百萬石

回顧寧ろ凄愴

大正九年一月四日新市三月限が四十八圓五十錢に生れ十二月廿五日の大納會に二十一圓二十七錢に終る迄仁川期米の一ヶ年は前代未聞の

大波瀾を描き 其騰落の鞘實に三千三百餘丁ミ云ふ大記錄を殘した、輸贏を爭ふ戰場の猛者も時の移りは支へ難く幾萬金を擲つて吐く息も有るや無しやの者、或は夢の間に千金を贏ち得て不景氣の文字など何處の國の言葉かなど、夢中に狂喜せる者、此れ等の一切を乘せて『時』は遠慮なく轉じ泣く者も笑ふ者も一大決算をすべき大晦日は來た、長火鉢の猫板に頰杖突いて靜かに其の騰落の一年を回顧する時相場師の胸裡

亦感慨の無量 を禁じ得ぬものがあるだらう、前年十二月の高値時を受けて一月四日の新市發會に四十八圓五十錢の氣配を生れを見せた時假令騰勢の後に暴落あるべき原理を以てしても十七圓の慘落相場を現じやうとは如何なる玄人連も思ひ及ばぬ數字であつたらう、時は好景氣の絶頂時代爐の灰でも買つてさへ置けば儲かる世の中に一月十二日には五十圓しか十五錢ミ飛び上つた之を大正九年に於ける最高値ミする、爾來一高一底の裡にも買方萬能を謳歌せられて來たが

三月の末財界 の一閃に暗影濃ふミ見る間もなく株式綿絲の大暴落を報じて仁川期米亦四十三圓七十錢の慘落を演じ四月に入つて人氣益々腐り遂に二十六圓四十五錢ミ云ふ舞の高値に比し一千四百丁の安値を現ずるに至つて茲に初めて買方の恐慌時代が來た、盛者必衰の理は人間の如何ともする事の出來ない天の配劑で人氣全く轉換、六月には二十九圓三十錢の寄り付きが僅に半月ならずして一千七百六十何丁の暴落を演じて二十一圓八十錢の

新安値を現出 する世界恐く不景氣のどん底に落ちたがそれでも一高一低は相場の常、七月には政府の農村救濟金融業者庇護の風説が市場に傳はつて聊か立ち直りの氣味に三十五圓四十錢迄引返したが近年稀有な大災期の平穩に買方の氣勢揚らず十八圓四十五錢の慘況に叩かれ大豐作の豫想發表六千三百萬石に買方の膽を潰して立て直りも出來ず十一月の所謂新穀氣分には十七圓九十錢に迄跌落れたが斯くて愈

師走に這入る ミ十二月六日には十七圓二十九錢ミ云ふ今年切つての大安値を生み此の値鞘が一月十二日の最高に比すると實に三千三百四十六丁の大開きに當るのである極月も末になると聊か氣勢を揚げて二十一圓五十錢の納會に買方一息の傍が見えたが來るべき明年の新市が果して什麼變化を生ずるか兎も角も斯くて大正九年の大波瀾の中に市場に記された出來高は驚く勿れ八千六百九十一萬三千六百石を算し

優に全國一を 誇り得るが此の年末に際して十二月の出來高を左に示す

大正九年	出來高
一月	六、七五四、九〇〇
二月	八、三三〇、七〇〇
三月	一一、四〇七、三〇〇
四月	一三、二六六、〇〇〇
五月	八、九〇五、二〇〇
六月	八、九六一、三〇〇
七月	四、五六一、四〇〇
八月	五、〇九一、一〇〇
九月	六、八〇三、七〇〇
十月	四、八九二、九〇〇
十一月	三、四四六、〇〇〇
十二月	四、四九三、一〇〇
合計	八六、九一三、六〇〇

穀類在庫數（仁川）

廿五日現在仁川六銀行在庫穀類は前調より玄米六十四百七十四石白米二百三十三石の増加となれるが其種別數量左の如し

玄米四斗入二萬二千〇百四十五叺五斗入一萬二千七百七十叺小麥四斗入百叺白米四斗入一千七十七叺五斗入五千百十一叺大豆四斗入七十七叺小豆四斗入百二十叺大麥五斗入二百二十八叺綠豆五斗入五百二十七叺籾七斗入六千四百六十二叺栗麥五斗入二千八百八十叺精米四斗入二百八十九叺九百四十九叺（仁川）

自動車開通（江景）

今般江景裡里間及び論山間の自動車開通されたるが論山發は諸路に京城に利用されたるものなりと

南浦曹校新築（鎭南浦）

鎭南浦第二公立普通學校々舍は從來甚だ狹隘なる埋立地四百坪を包擁する位置にある爲め城内に數萬圓を投じて新築の豫定なるが構造設備共に完全なるものにして西鮮中稀に見る建物なりと云ふ因に來年一月中旬頃入札に附し直に工事に著手すべし（鎭南浦）

地方集會

▲慶北三部長の忘年會 慶北道三部長新任總督府部長氏は廿六日午後六時より料亭大和に大邱各新聞記者並に各部主任等を招き忘年會を催したが會者約五十名盛會裡に十時散會せり（大邱）

朝鮮現下の治安（五）

警備機關の活動と不穩分子の剿滅

近に昨年六月以降上海假政府ミ氣脈を通じ京城を中心として獨立資金を募集し又は諸種の不穩印刷を頒布し盛に民心を煽動せし青年外交團關係者二十五名の中首謀者以下十名をも檢擧し次ぎに前記青年外交團ミ連絡を保ち各地の耶蘇教徒を以て組織せる大韓愛國婦人會を京城及各道支部の關係者四十名中主謀者以下二十三名を檢擧し又平壤基督教神學校地下室にて會合し各道の牧師二十名ミ連絡を有する大韓國民會の首謀者外九名を逮捕せり更に在外不逞團ミ策應して各地を通じて二百名以上の團員を有する大韓獨立青年團の首謀者以下九名を檢擧し尚平壤に設置したる上海假政府交通部關係支部に於いて首魁以下四名を逮捕續いて李堈公を誘出せんとせし大同團員十一名を檢擧して其の根據を覆へせり

次ぎに上海假政府ミ策應し咸北會寧に監督府鏡城に總督府を設け聯通制なる新機關に依つて活動を開始せんとせし一團の關係者五十四名を檢擧して彼等の企畫を座折せしめ次ぎに安東縣怡隆洋行内に設置せし上海假政府臨時安東交通局の首魁自稱局長以下五名を逮捕し又安東縣三源浦より竊かに朝鮮内に入込み自稱暗殺團長以下七名が大邱に於て爆彈の製造計畫中を逮捕し引き續き大朝鮮國民軍團組織の首謀者以下四名をも捕へ殊に前述安東交通事務局長の後任築邱等が大々的計畫を以て不穩の擧動に出でんとせしを早くも探知して關係者數名を檢擧し其の一大陰謀をして全然瓦解するに至れり又忠北槐州郡江外面某在堂が同志十七名ミ義烈團なる者を組織し爆彈十數箇を上海方面より取り寄せ其の三箇を密に鐵原に隱匿し他を釜山に隱匿せし事發覺し一部以下六名を逮捕し爆藥は押收せり此の他安東縣怡隆洋行内に潛伏せし大韓青年團聯合會交通部長尹滉等が支那領九連城下流瓶藏に於て爆彈製造材料及び拳銃爆彈等の分配協議中一擧に一味を逮捕せる等此の種檢擧に遑あらざるが近くは京城雲泥洞に於ける強盜殺人犯人の逮捕より端なくも過激なる青年團の端緒を得連累者十數名を逮捕するに至れり

以上の如く警備機關の活動は頗る目醒しきものありて落々不逞漢の剿滅を見つゝあるも此の間に於ける警察官の苦心ミ努力は頗る甚大なるものあり爲に其職に殉ぜし者も亦少からず且つ續々更らに苦心多きは何人も知る處なり朝鮮現下の治安の情況は上述の如くにして最早不逞漢の運動を許さず民心漸次緒平に歸しつゝあるは爭ふべからざる事實なりとす然れども現下の治安が果して永久持續さるゝや否やは疑問たらずとせず或は如何なる方法に出りて彼等不逞漢が再び擡頭し來らんやも計られざる今日なるが故に警備機關の充實ミ當局の努力は寸分も油斷あるべからざる也（完）

瑞西より

平和の源泉地ジュネーブにて 石丸俊三

一信（十一月十六日）

目下瑞西ジュネーヴに於て開會中の國際聯盟總會參列の我代表委員の一人にして朝鮮總督府事務官石丸俊三氏より次の通信があつた

國際聯盟第一回總會劈頭に當り遙にジュネーヴより敬意を表し奉る。

世界四十一ヶ國の全權一市に集まり當地は多大の盛況を呈し居り候。我國全權の活躍果して如何。

二信（十一月十七日）

平和の源泉地より遙に御健康を祝す第一回聯盟總會は昨日午前十一時開會、天氣晴朗の中に開會劈頭議長の選擧は多大の興味ある情況を呈したり白國外相『イーマンス』氏議長たるの榮を擔ひたり

神戸で發見

二十七日午前十時三十分神戸入港の……監視を嚴重にし各方面に……入り七十八個價格五萬圓の……偵を派して極力犯人檢擧に……し發覺せしは水上署に急報して逮……め居る矢先き二十七日正午……に大活動を開始し目下同署の手……

怪しからぬ基督教徒

……の巡査が此變に至り犯人は更に……郡東萊面院里生れ當時釜山府……梁洞七八八梁任頑（？）なる者ミ……立派な行をなせし者なりミ（釜山）

盜んで遊ぶ

當時市内北……飲酷價格七八百圓を窃取せ……樂町京城日々新聞社からオーバーコート……及びレーンコート二百圓……

大連特電

二十八日……

毛布は極度の大暴落！

關谷から直接買へば市價の半値段

經濟界の不況 信用の本位の……者の損害は莫大なるものあり……

製造直接販賣

優良品大廉賣

五萬組限 製産價値の大廉賣

- 二枚續き鼠毛布 定價 中二圓七十錢 特二圓三十錢
- 二枚續き茶毛布 定價 中三圓三十錢 特四圓五十錢
- 二枚續き白毛布 定價 中五圓八十錢 特八圓八十錢
- 二枚續きラクダ毛布 定價 中七圓五十錢 特十圓五十錢
- 二枚續き赤毛布 定價 特五圓五十錢

注文はハガキ

毛布製造發賣元 東京市日本橋區本石町壹丁目十番地 關谷商店 電話本局二三三四 振替東京四四一三

才鐵 現代の秘密 新年號

世界化赤戰爭 十三漫畫家合作 / 外來間諜及軍事探偵 / 祕密政治の日本 / 通信教授講義錄の祕密 / 歐洲外交界の祕密測法 / 政黨の祕密 / 新聞社の特殊爭奪戰 / 機密地圖を盜んだ男 / 露人復辟運動哀史 / 日英裏面の悲劇 / 或る殺人犯 / 神宮代拜の青年に / 馬賊參加の邦人 / 鑛石から染料採取 / 日本海祕史 / 假政府鐵血團 / 錆びたる鍬 / 義民源五 / 淺草と善光寺の正體 / 銀行會社工場の機密爭奪戰 / 漫畫 澤山 / 十大懸賞 新案發表

定價三拾錢 東京博文館

少年倶樂部 新年號 大發展

大附錄 卓上ベースボール

怪少年（冒險小說）西川虛空陀 / 權太栗毛（名馬の譽）岡本綺堂 / 竹松の竹馬（少年小說）上司小劍 / 賴朝の旗揚（歷史小說）大川白雨 / 中等學校入學試驗模擬答案 懸賞募集 / 鍛冶屋の小僧（怪奇談）室生犀星 / 大工の大話（史上物語）加藤武雄 / 忍術五勇士（武勇傳）大河内翠山 / 留守宅の思議 前田曙山 / 滑稽大學 / 少年討論會 / 手品の種明シ / 懸賞募集 / 私が少年時代に讀んだ本 / 五郎のお年玉 / 蟻の大軍 / 現代名士列傳 / 詩集の基 / 可愛子鳥 / 正直なあひる 山村暮鳥 / 餘りに強過ぎる 岡本一平 / ビルマの傳記

定價四拾五錢 東京市本郷區駒込坂下町四八 大日本雄辯會 振替東京三九〇三

灘酒の模範

純良無比 澤之鶴

石崎株式會社醸

三越呉服店

來一月一日より三日まで三日間休業仕候

京城 三越呉服店 電話六〇一二番

新荷到著

MI トンボ 神戸 ムテイ商會 靴部

價格一足壹圓廿錢より

常松商店 大邱寺町二十二番地

謹近火御見舞

滿鐵京城事務部 販賣課京城出張所 電話長一七七〇

謹近火御見舞

京城南大門通五ノ二八 毛利辰二郎 長電話五二三番

謹近火御見舞

京城南大門通五丁目 大原松次郎 電話二二二五番

猿馬印 きもやけ根切薬

手足耳のかゆみ、いたみ、ただれ、くずれ、によくきく

定價三十錢 二十錢 十錢 本舖 東京日本橋

マイヤー 復働式ぽんぷ

三葉商店 東京銀座西四丁目 電話京橋一九六二

法人登記公告 伊川出張所

商業登記 開城支廳

京日案内

家寶賴山陽先筆

貸家 關商店

そば粉 大塚製粉所

ほねつぎ 仁壽堂

金銀 貴寶堂

小店員入用

測量機械修繕 岩田武虎

貴金屬製作 時計眼鏡 仁川本町 糸岐商店 電話三七〇 振替京城七一一番

喪中に付年末年始缺禮仕候 鎭南浦 馬場嘉藏

贈答用組合せ文具 京城本町 大阪屋號

珍書肉布團 花中社

父富田鈴吉儀病氣ノ處養生不相叶本日午前六時逝去致候間此段謹告仕候追テ葬儀ハ明三十日正午自宅出棺午後二時本願寺ニ於テ執行仕候

大正九年十二月廿九日

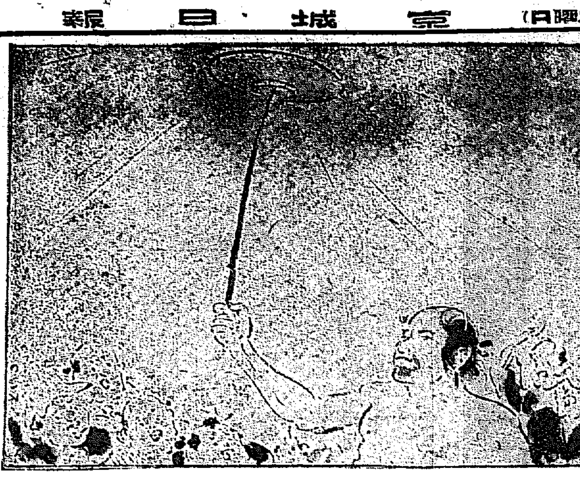
男 吉夫

親戚總代 富田陸雄

友人總代 工藤武城 池田季雄 山口太兵衛

慶安太平記

第五十七席 小金井芦洲講演



ビューッと唸りを生じて上つた奴が落ちて來る所を左の手で以てヒョイと押へた 男『どうだ見物これでも藝の中なんだ、何でもないやうだが貴樣達には出來ないぞ、かう硬い物ほど毀れたがるものだ、相手が瀬戸物だ、些ッとした事のやうだが貴樣達に出來る譯のものぢやない、然しこれは小手調べだ、今度は今の樣にして抛つた皿を棒で受け留めるんだ、能く見て居ろ』ご又もや一枚の皿を高く抛り上げて落ちて來るところを片ッ方にあつた例の竹竿を持つてヒョイと受けると、竿の上で皿がグルくと廻る、尤も當今の皿廻しの曲藝でもこれは能く演りますが、那りや皆種があるので、竹竿の先が尖つて居て皿の尻へは丁と穴が明いて居る。落ちて來るとヒョイと穴の中へ竹の先が入つて、その調子でグルくと廻ると言ふやうな譯で、十日か十五日も熟練をすれば器用な者には一廉出來る樣になる、然しこの男のやつて居るのはそんな仕掛けなどはない、堂々と演つて見せて居る、三度目には件の皿へもつて往つて小脇にあつた手桶の水を一杯に注いで、繼竿の上へ載せる、段々と竿を繼足しながらそれをグルくと廻し始めたが、何所に如何なる術があるか知れないが、廻して居る間に少しも皿の中の水が溢れないのです ×『どうです器用なものですな』○『左樣々々あの皿の中の水がある事とは思へませんな、旨いものです』×『所が妙なものでね、私は二度も三度も見て知つて居りますが、サアこれから雨が降るぞと大きな聲を出すと、あの皿の中の水が霧の樣になつて八方へ擴がりながら落ちて來るのですが、ソリャ實に不思議な位です』○『ベエー、そんな事が出來るものですかな』見物が口々に感嘆をして褒め立てる、その中に繼竿を皆な足して仕舞つた、皿はグルくと勢ひよく廻つて居る 男『ソレ、これから雨を降らすぞ』と言ふと竿を持つて居る手許のところをトンと一つ叩いて、グルくと一層強く廻した、スルと中に入つて居る水は如何なる呼吸に依つてか霧のやうにサアッと八方に撒つて降つて來る、僅か小皿一杯の水が數間四方へ擴がる、實に見事なものだ、丁度九夏三伏の炎熱を燃かすといふ炎暑を頓ほひ、頭に落ちて來る露水を心地好く受て喜ぶ者もあれば、また着物を濡らしては大變だと向ふの方へ飛び退く人もあるが、どうも上手なもので見物一同ヤンヤと言ふ騷ぎ、暫くは廻して居つた皿、その中の水も盡きると竿を拂つて、落ちて來る皿を巧に受る 男『サアこれだけだ、もう後は無いから皆な約束の通り錢を抛れッ』先刻から皆な驚かされて居るんでさう逃げる者もない、バラくと錢を抛る 男『アヽもう好い、もう好い、なァ然う澤山貰はんでも好いんだ、この位ゐで好い』集まつた錢を拾つて手に載せる、勘定をして見て 男『オヽ塵も積れば山となると言ふが、コリや山にはならぬ存外少いや、けれどもまァこれで我慢をする、もう何も演らないから彼處へ往け』と群衆を拂つて、竿や皿の始末をして片付け、一方にあつた葭簾へグルくと[illegible]いて居る、その樣子を見て居た正雪、何か自分に思ひ當つた事があつたと見え、供に連れて來た清水八藏に向つて何か吩咐けた、八藏は首肯いて早速右の香具師の前へやつて參り 八『コレく香具師一寸待つて呉れ』と聲を掛けた

十二月卅一日

舊暦十一月廿二日 ▲金曜日▲癸亥▲二白▲暗劍北方▲友引▲元宿▲開▲八溝

▼一白▲油斷なく周圍に氣を配るべく退嬰的却つて利を得る日
▼二黑▲浮懷にして諸事徒勞に歸し易し約束事亦手違ひ多き日
▼三碧▲目出度き日開店就職等は素より旅行結婚亦吉
▼四綠▲物事すらくと捗り利益多き日 商業新計畫何れも大吉
▼五黃▲一寸調和のとれ難き日 辛抱して時節の到るを待つべし
▼六白▲待てば甘露の日和の急がずとも吉運の廻り來る日也
▼七赤▲穏やかな日起業開店旅行披露結婚其他水物商賣上首尾
▼八白▲兎角反對に行き易く存外の損失を招く日新しき企て闘
▼九紫▲[illegible]議論の事あれば外きよりは内輪ぎに利益の多き日

▲鼻が高くなる 隆鼻器無料贈呈

▲鼻は人物の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の内で▲だんご鼻▲わし鼻▲獅子鼻▲其他鼻の格好の悪しきは

本法は彼式の注射や隆鼻術でなく自宅で人知らぬ間に鼻の格好よくなる新案特許の整鼻器を希望の方に無料で贈與すハガキで申込の方は説明書見本を郵送す 東京市芝區神明町 東京整鼻器製作所

嚢に貴意を得候通り小生儀引續き天王寺鳥潟病院にて療養中に就き年末年頭の禮を欠き申候

十二月二十六日 京城長谷川町 高麗蔘精研究所 山口謙男

假寓 大阪市天王寺區[illegible]山町三ノ一八 小生儀本月以來[illegible]扶所に罷り來り年末年始の禮を欠き候に付此段御斷り申上候 忠清南道大田郡大田 長谷榮治郎

京阪地方旅行中に付年末年始共缺禮仕候 府協議員 方奎煥

▼能筆は一生の德
▼字の下手な人
▼がスグ上手になれる方法がある
▼悪筆の矯正は出世の近道

近道で能筆の人は人には信用され出世する小野鵞堂先生は多年苦心研究の結果何んな字の下手な人でも忽ち巧くなれる方法を發見した方法を[illegible]簡單で二十分宛一週間もやれば何んな悪筆家でもキット見違へる樣に能筆となる事が出來る。小野先生著『悪筆矯正の秘訣』は其方法を誰にも分かる樣に詳述したもので年賀狀は勿論手紙端書履歴書を書き帳面を附けても『マア見事なこと』と人に賞められ重寶がられんとする士は至急申込あれ、尚ほ上達出來る樣に近來流行のペン字も附錄にしてある

ペン習字法

▲本書は四六版二百頁定價金一圓五十錢の處發賣記念の爲め一千部限り一圓二十錢送料十錢一週間に到着す。ハガキで申込み次第代金引替で送本す前金送料共一圓卅錢 東京麴町區九段下 振替東京四〇四五二 二光社

忌中に付年末年始の禮を缺申候

京城蓬萊町一丁目八九 板倉商店 板倉光秀 電話一四七〇番

朝鮮燐寸株式會社 第六回決算報告書

貸借對照表 (大正九年十一月三十日現在)

借方ノ部	
未拂込株金	[illegible]
土地家屋	[illegible]
機械器具什器	[illegible]
商品及原料	[illegible]
貯藏品	[illegible]
製造品	[illegible]
有價證券	[illegible]
保證金	[illegible]
受取手形	[illegible]
預金及現金	[illegible]
合計	[illegible]

貸方ノ部	
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
買掛金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
借越金	[illegible]
當座借越金	[illegible]
未拂工賃金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分	
當期利益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
内 法定積立金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金(年六朱)	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通候也

大正九年十二月

朝鮮燐寸株式會社

取締役社長 加藤榮太郎
專務取締役 白神專一
取締役 吉田秀次郎
取締役 多田榮吉

右監査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證ス

監査役 野口文一
監査役 平山松太郎
監査役 高木助市
監査役 丁致巴

下關取引所米仲買 外桝谷米商店 電話三三番三四番

尾崎滊船部 下關支店

角輪組

共益社下關出張所 下關市觀音崎町 電話一四一二番

プレミヤ萬年筆 下關市 發賣元 山中開信堂支店

創始東洋第一 東京自動車學校

▲自動車ノ激増ニ伴フ運轉手技師ノ不足甚シキ本校ハ大阪福岡ニ分校ヲ有シ全鮮各地ニ就職シ得ル甲種運轉手ヲ養成シ朝鮮志望者ノ爲ニ運轉手技術ノ收入ト地位ヲ知ラシメ自動車ノ現狀ト開業ノ資金收入等ヲ記載セル美本ノ冊子ヲ送與ス東京市京橋區

●收入多大ノ自動車界ニ來レ●

於朝鮮分校 入學期日毎月一日及十六日二ヶ月卒業一ヶ月卒業アリ何レモ卒業迄ノ全學費金百卅二圓納學則送與

京城黄金町三丁目 京城自動車講習所
釜山府榮町一丁目 釜山自動車講習所

有田 請合藥 りん病 ばい毒

特別八円 並三円 送料十二銭
特別四円 並二円 特三円 送料十二銭

◎淋病藥主薬は治燕劑とし梅毒藥主薬は驅梅内服薬として醫學上最有効と確定し歐米醫科大學病院等にて當局配劑せる高貴薬なるを保証す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は

分析料 百圓進呈

◎あらゆる治療を尽すも効なき患者は此に角一度來談あれ

本舖 東京 大阪 有田音松
東京日本橋通四丁目 大阪心齋橋筋本町
發賣所 有田ドラッグ
朝鮮專賣所 京城南大門外電車通 有田ドラッグ 長電話一五六七(?)振替京城四六七

鮮滿專賣所

京城黄金町電車通
全羅路十字街
龍山三角廣場
釜山辨天町二丁目
群山東榮町
木浦榮町
元山本町二丁目
平壤道廳正門向
鎭南浦三和町
仁川宮町二丁目
大邱停車場通
咸興本町二丁目
晉州大安洞
安東縣市場通
長春城内大馬路
奉天松島町

滿州專賣所 大連岩代町磐城町角 有田ドラッグ

にせドラッグ 沢山あり 有田ドラッグにて 有田音松製を御買取あれ

靴界の革命 くつ使用者は見逃す勿れ

今回東京本郷區湯島五丁目一番地エビス商會(電話小石川四七四八振替東京三六〇六〇)にて發賣の同店特製のゴム靴は從來の物と違ひ内部全部にヅックを張りあれば足先冷わずして温く履き心地よく又ゴムばかりと違ひゴムのきれる憂なく耐久力及び體裁に於て殆ど數十圓の革靴と變色なければ好評を博し居れり本紙讀者は是非試みらるべし希望者はハガキに足袋の文數を記し申込めば代金引換(送料實費)にて送る由

一號半長靴 一圓九十錢 二號深靴 一圓五十錢 三號黒半長付 一圓九十錢 特製品内部ヅック張 黒半長付三圓八十錢 赤靴紐付 三圓八十錢

下關市西南部町海岸通 米雜穀、貿易商 株式會社中村作下關支店 特電(四四二)番

秋田商會 下關市東南部町 電話一九番一三〇番 長六番二六番 三一二番

海運業 小野田セメント製造株式會社用達所 [illegible]長原秀吉 下關市西南部町 電話七二番

病氣中歳末歳首の御挨拶缺禮仕候 福岡大學病院内 川崎懐郎 全羅北道沃溝郡瑞穗面

大阪朝日新聞週刊附録

本邦新聞界の新記録

新春より毎日曜日發刊

フォトグラビヤ(寫眞凹版)は歐洲大戰中英、佛、獨其の他の列國に於ては戰時畫報に盛に應用した爲め急速の進歩を示し、米國に於ては既に大新聞社が日曜附録として之を利用するに至つた。本社は夙に此の趨勢に鑑み、我邦寫眞製版界の天才東京辻本寫眞工藝社主辻本秀五郎氏と計り此の新文化的事業の研究を援け爾來幾閲月、至難なる製版と輪轉式印刷機械の完成を急がしめた結果、全く氏獨特の研究と方式によつて外國品を凌駕する秀麗典雅なる畫面を新聞紙に印刷すること殆ど同樣の速度を以て印刷し得るに至つた、確に我邦印刷界の驚異である。此機械を利用して發行する『朝日グラヒック』は社會各方面の現象を集めた美術的の活歴史であつて、本社は率先して日本の新聞界に此の一新記録を劃し得たことを欣幸とする

朝日グラヒック

本紙一頁大 原名フォトグラビヤ 週刊寫眞畫報

本紙讀者に無代頒布す

大阪朝日新聞社

砂糖 麥粉 酒精 打綿

株式會社大里製糖所代理店

合名會社 中島商店 朝鮮部

下關市西南部町

鈴木商店下關支店

日米新協約の綱領

[illegible]を布けざるべし 又一切の外國人に[illegible]して土地所有を禁止するは[illegible]待遇を設くるは避くべし 修[illegible]人に市民權を附與する代りに[illegible]

日本赤化の目的

[illegible]耳其政府との間に諒解あり互に使臣の交換を行ひ且つ[illegible]が爲しつゝありしが此の結果として過激派の勢力は[illegible]地方に伸張し來りジョージアの獨立を脅威し[illegible]供給し過激官僚の目的を以て日本と[illegible]向ふ協定にて兩名の故國は[illegible]領アルザースにして[illegible]

支那大博覧會

北京政府[illegible]二百萬弗の豫算を以て近く[illegible]博覧會を當地に開催すべく[illegible]人を派して協議中なり

[illegible]地入千二百七名鮮人四百四十名[illegible]其の内[illegible]鐵道工事に從事せるものは凡そ[illegible]

釜山正米續騰

[illegible]商内おなたり大豆も[illegible]に伸れ二十錢高の一圓二十錢所にて四千四百叺[illegible]